

令和7年度 浜松市教育研究会 中学校社会科部 第1回研修会
2025年 5月21日 (水)三ヶ日文化ホール

- 1 はじめのあいさつ
- 2 顧問校長あいさつ

3 講演「見返り鹿が見ているものは ～これからの社会科のあり方～」
元浜松市社会科教員 野島恭一 氏

【研修の様子】

長年にわたり、社会科教育の第一線で生徒と向き合い続け、後輩教員を育成し、現在は静岡文化芸術大学で指導されている野島恭一氏にお越しいただきました。

「見返り鹿が見ているものは ～これからの社会科のあり方～」という演題で講演を頂き、これまでの指導の経験や、大学生への指導場面を交えながら、教科書や資料の効果を最大限に引き出せるような指導について研修を深めました。「大化の改新」や「中央集権国家」などを例にあげ、「単なる言葉の教え込みではなく、子供たちに残せるものを教えたい」と話されたときには多くの研究部員が頷きながら聞き入っていました。

まとめには、「君はどう思う」に対して、

「君はそうかもしれないが私はそうとは思わない」と言える子の育成など、指導していく教員の視点も教えてくださいました。講演を通して、これからの社会科について考えるとともに、明日からの指導につながる研修が行えました。



4 講義「令和7年度用中学校社会科教科書・地図帳 ～指導書 Web サポートと指導者用デジタル教科書のご案内～」

帝国書院 岡本龍治 氏

【研修の様子】

帝国書院から指導者向けの Web サポートツールの活用方法について紹介して頂きました。図版や資料を指導に活用しやすいように編集、加工、カスタマイズする方法を、実際の画面を表示しながら実演していただき、試してみたいくなるような内容でした。思考ツールや白地図など指導を充実していくために活用できるデータや教材が多く紹介され、



その活用法について、すぐに考え意見交流されている研究部員も多く見られました。生徒や教員の ICT 活用が浸透していく中で、便利な Web サポートツールの情報を頂けたことはさらなる授業改善につながったと思います。